

令和元年度 第1回八幡浜市総合教育会議議事録

1 日時

令和元年11月19日(火) 16:00~17:15

2 場所

八幡浜庁舎 3階庁議室

3 出席者

(1) 構成員

大城一郎市長、井上靖教育長、菊池誠教育委員、小野巖教育委員、
上田純子教育委員、泉俊也教育委員

(2) 構成員以外の出席者

副市長、総務企画部長、総務課長、総務課長補佐、
教育指導主幹、学校教育課長、生涯学習課長、学校教育課長補佐

4 市長あいさつ

本会議は、私と教育委員会との情報交換、連携強化の場として、定期的に開催をしているもの。

前回にあたる昨年度の会議では、教育大綱の改定に併せて「小中学校への空調設備の設置について」等を議題とし、様々な意見交換を通じて、環境整備の充実を図ることができた。今回の会議では、次第にあるとおり「教職員の働き方改革」と、継続案件となっている「小中学校の統廃合状況について」の2つの議題を設けている。

スムーズな進行により、有意義な会にしたいと考えているので、よろしく願います。

5 議事

(1) 教職員の働き方改革について

【教育委員会事務局】

資料に基づき「愛媛県教職員業務改善モデル事業」について、現時点での取組を紹介する。八幡浜市は、南予で唯一の指定を受けている。

①業務改善方針の策定

「基本理念」について

八幡浜市教育振興に関する大綱に則り「教育は人づくり、子どもが育つまち八幡浜」を掲げ、教職員がやりがいを感じながら、充実した教育活動を推進し、教育の更なる質的向上を図りたい。そして、子どもの成長・幸せにつなげたいという願いを持っている。

「モデル事業研究課題」について

「学校事務の機能強化を中心とした学校の業務改善」を研究課題とし、モデル事業の研究指定校として、神山小学校を指定している。

②業務改善計画の策定

「学校支援体制」について

本市教育の特色である5ブロック体制による学校・家庭・地域の連携を重視したい。

「非常勤講師等の配置」について

学習指導面、生徒指導面、特別支援教育面など、項目ごとに整理し直した。

「スクール・サポート・スタッフ」について

今年度1名配置をした。更に増員をお願いしたいと考えている。

「部活動」について

本市部活動の方針、各校の活動計画を遵守したい。

「教育環境の整備」について

エアコンの設置による快適な学習環境をありがたく思っている。

「学校業務改善推進委員会の設置」について

構成メンバーは、教育委員会、学識経験者、PTA連合会、公民館連合会、校長・教頭会等の代表者で、年間5回の開催を計画し、現在3回が終わっている。

③実践事例の紹介

「勤務時間を意識した働き方」について

研究指定校の実践を他校に紹介しながら、各校の実態にあった工夫ある取組を働きかけている。 例：職員朝礼回数の減 会議の時間短縮

退勤時刻の目安設定 ノー残業デーの設定など

「長期休業中の閉庁日の設定」について

お盆期間の休みは、設定してから今年で2年目を迎えている。

「校務支援システムを利用した出退勤管理」について

市内の全小・中学校を統一した方法で10月より実施し、全教職員の勤務実態の把握に生かしている。

「研究指定校の時間外勤務統計」について

長期休業がある3・7・8月を除くと、およそ7～8割の教員が目安とされている1か月あたり45時間を超えて勤務している。

「評価の指標」について

忙しさを感じている教員は多くいるものの、全体的には、充実感、やりがい、幸福感、誇りを感じながら教育活動を進めていることがわかる。今後は、各学校・個人にも目を向けていきたい。

「家庭・地域との連携強化」について

各種会議等を通じて学校の働き方改革への共通理解を図り、機関紙等により地域への周知・啓発を進める。

「地域ボランティアの協力依頼」について

諸団体の理解や協力のもと、下校時の見守り活動を11月に実施した。

「教職員の意識改革」について

年間3回の研修会を計画し、現在2回が終わっている。

「学校事務の機能強化のための研究」について

共同実施体制の活性化により、学級担任による校納金事務処理業務の負担軽減や、

事務職員未配置校への校納金処理支援に取り組んでいる。

「事務処理文書の効率化・簡素化」について

共有フォルダによる文書の共有や送受信等、校務支援システムの活用を図っている。

【菊池委員】

八幡浜には、非常に熱心な先生方が多いということは、PTA活動を通して承知している。ガイドラインを作ることで、先生方が働かなくなるのではなくて、更にやりがいを持てるように、今の取組をベースに進めてほしい。

【泉委員】

働き方改革が推進される中、先生方も部活動週休2日制とか、少しずつ改革されていると思うが、アンケート調査によると、忙しさやストレスを感じている人はまだまだ多いようなので、アンケートを選択式から記述式に変えて、また、集計も学校単位ではなくて市全体でまとめて行うように配慮して、先生方の生身の声を吸い上げてはどうか。

【市長】

文章を書くことによって、また仕事が増えるということもあるので、日頃のコミュニケーション等で、管理職がどのように感じ取っていくか、そのあたりも大切になってくるのではないかと思う。

【小野委員】

アンケート調査から、先生方は天職というか誇りをもって仕事をされている現状が見えてくるが、先生自身が実際にこうしたらもっと早く学校から帰ることができるか、そういった現場の声というのは聞こえてこないのか。

【教育委員会事務局】

大々的なアンケート調査の実施は、忙しい教員に「またアンケートか」「また調査か」という思いをさせてしまう。調査はできる限りシンプルに最低限のものにしたいという考えをもっている。ただ、研究指定校には、ある程度の負担をお願いしている。例えばどんな仕事に負担を感じているか等、具体的な事例を生の声として挙げてもらっている。

【市長】

子どもの教育がメインになるべきところを、そうでない仕事に時間をとられることが多くなっているように思うのだが。

【上田委員】

昔はパソコン等情報機器が発達していなかったもので、書類の作成依頼から提出までにある程度時間的余裕があったが、今は便利になった反面、時間的制約を強く感じる。

その点について、昔はおおらかであったと思う。

また、昔の先生は、子どもの前に立って子どもと一緒に苦勞していた。それは保護者も地域も当たり前、忙しさやストレスを感じることも当たり前だったが、やりがいがあり、教師に魅力を感じていた。今回のアンケート調査を見ると、忙しさやストレスは感じているが、充実ややりがいを感じている人も多く、先生の意識としては、昔も今も変わりなく、八幡浜の先生は健全であると感じた。

【教育長】

教員の長時間労働をやめさせること、それは何のためにするのかということ、子どもと向き合う時間を確保するため、それを実現するためには、大きく4つの柱があると思う。1つ目は教員が担うべき業務範囲の見直し、2つ目は教員の定数増、3つ目は教員を助けるスタッフの増員、4つ目は勤務時間の管理監督である。ただし、教員が担うべき業務はどこまでかということや、勤務時間の超過ばかりを指導していると、本末転倒で、教員はやりがいというものを失ってしまう。そうすると改革ではなくなってしまう。教員やスタッフの増員と併せてやっていかなければならないということは、県とか国にも伝えていきたい。

【市長】

昔より子どもは減って、先生が受け持つ人数も減っているのだから、子どもと向き合う時間は取れるように思うのだが、それ以上に他の業務が入ってきていると感じる。それが本当に必要かどうか。これから教育分野にもAIとかIoTとかがどんどん入ってくると予想される。市においても、業務の効率化を図るために設備は整えられる。ただし、予算の範囲内であることから、このあとの議題にある小・中学校等の統廃合問題も考慮しながら、ある程度絞り込んだ投資とか、相応の対応をしていきたいと思う。

(2) 小中学校統廃合の経過報告について

【教育委員会事務局】

資料に沿って、児童・生徒の推計と、統廃合のこれまでの進捗状況について説明する。昨年度は学校再編整備第二次実施計画がスタートした年であり、計画前期に位置づけられた川上小、双岩小、真穴中、松柏中の4校に対して、主に保護者のみなさんを対象に説明会を実施し、子ども達にとってより良い環境をメインテーマに理解を求めたが、思うように会が進まず、今年度に統合予定だった川上小、双岩小の神山小との統合は、計画の前期末である令和4年度に延期することとなった。

「小中学校の児童生徒数の推移」について

小学校の児童数 昨年度1,421人 今年度1,357人(64人減)

令和7年度推計1,093人(264人減)

中学校の生徒数 昨年度781人 今年度760人(21人減)

令和13年度推計532人(228人減)

推計人数は、住民基本台帳上の小学校入学前の児童が、そのまま

成長すると見込んだもの。

「学校統廃合に関するこれまでの進捗状況」について

< P T A 連 合 会 >

定期総会での第二次実施計画の説明 H 3 0 . 4、H 3 1 . 4

< 川上小学校 >

保護者説明会 ①H 3 0 . 8、②R 1 . 7

保護者アンケート H 3 1 . 3

P T A 役員と教育長協議 R 1 . 9

< 双岩小学校 >

保護者説明会 ①H 3 0 . 5、②H 3 0 . 1 0、③R 1 . 6

スクールバス運行委託先の変更 R 1 . 4

< 真穴中学校 >

保護者説明会 ①H 3 0 . 5、②H 3 0 . 1 0

統廃合に係る地元説明窓口の設置 H 3 0 . 5 ~ 7

保護者アンケート H 3 0 . 1 0

統合に関する地区協議会 ①R 1 . 6

真穴中学校の未来を考える会 ②R 1 . 7、③R 1 . 8、④R 1 . 9、⑤R 1 . 1 0

< 松柏中学校 >

保護者説明会 ①H 3 0 . 6、②H 3 0 . 1 1、③R 1 . 6、④R 1 . 6

保護者アンケート R 1 . 9 (千丈小)、R 1 . 1 0 (江戸岡小)

【上田委員】

真穴中学校の統合については、地域の反対意見が多く難しいと言われていたのに、地区協議会の立ち上げなど、進展があった要因は何か。

【教育委員会事務局】

真穴中学校の場合、P T A 役員さんをはじめとする保護者のみなさんの理解と校長先生をはじめとする先生方の協力によって、説明会や地区協議会を計画的に実施できた。

【上田委員】

もちろんそれもあるが、教育長はじめ、事務局の粘り強い働きかけもあったのではないか。市の姿勢、信頼感、そういったものが、真穴の人たちに届いているとすれば有難く思う。他の学校も大変な問題があると思うが、粘り強く根本にあるものを大事にしながらか進めていくことが、時間がかかるようで、実は早い道のりだと思う。

【教育長】

真穴中学校の地区協議会では、賛成意見や反対意見等、話し合ったこと全ての記録が全世帯に配られ、それに対する意見も集められた。そして会を重ねるごとに、教育環境をはじめ子どもたちの将来を考えた意見が多くなってきたと感じている。

【市長】

地元の方の意見の中に、「保護者に判断を委ねるのはやめてほしい。」「どうしても両方の意見があり、小さな地域で敵対することになる。禍根を残し他のこともうまく進まなくなる。だから、ある程度、市の方で決めてほしい。それに従う。」という意見があった。そうであれば、今、話が進んでいないところも、市の方で計画を決めて、それに合わせて準備をしてもらうことになるのだが、こういった時期に市としてどのような方向性を出せるものなのか。

【泉委員】

川上小学校については、今後の校舎利用について、行政に一生懸命考えてもらっている。ある程度の時期がきたら、市で決定してもらわなければ、話は進まないのではないかと思う。

【教育委員会事務局】

今進めている第二次実施計画のベースは、前の段階を参考に作られていると思う。前の段階は、極小規模校だったので、住民の賛否の心配をせずに進められていたと思われる。

【副市長】

学校ではなく保育所の統廃合について、3保育所を一つに、また、2保育所を一つに統廃合する事例があったが、地元の了解を取ったわけではなかった。市の方でこうすべきだと判断して、決定を地元へ伝えた。結果は良好である。そういう意味では、学校には文科省の指針があるわけだが、保護者同士が意見を戦わせるような気の毒な決め方ではなくて、ある程度、教育委員会が責任をもってやってくださいというものがなければ、地元が大変だ、と客観的に見ていて思う。

【市長】

再度、教育委員会としての方針を確認してもらいたい。

【教育長】

真穴中学校では、既に地区協議会を進めているので、もし来年2月に賛成多数であれば、1年間の交流等を経て、令和3年4月からの統合見込となる。また、松柏中学校については、来年1月に両小学校で保護者説明会が予定されているが、令和4年4月統合の方向で話し合いを進めていく。川上小学校については、依然厳しい状況である。

【市長】

一ついい流れができれば、状況も変わるのではないか。小学校についてはいろいろ問題があると思うが、少しずつ進むことができるように、私も努力するので、みなさんもお協力をお願いします。

【小野委員】

アンケート主体で賛否を問うのではなく、市の方針を伝えて理解を得るように進めてほしい。

【市長】

統廃合は、子どもたちの教育環境を考えてのこと。たくさんの友達の中で学び、いろんな経験をさせてやりたい。そういったところをしっかりと伝えていきたい。学校が近い遠いといっても、都会に比べれば、八幡浜はすごく近いと思う。今後もよろしく願います。

(3) その他

【小野委員】

防災や高齢化社会への対応など、公民館活動が果たす役割は重要になっている。より地域に密着したコミュニティの場として何かできることはないか。

【市長】

17の地区公民館の下に54の自治公民館があり、それぞれ地域に密着した活動を行っている。人口減の中、人手不足という問題もあるかもしれないが、こうした活動は今後も大切にしていきたい。

【教育長】

子どもたちの英語力を高めていく一つの方法として、英語検定等があるが、教育委員会では現在、検定料等を補助する計画を立てている。来年度、予算要求をしたい。

【市長】

前向きに検討したい。

【総務課事務局】

委員のみなさんには、長時間にわたって貴重なご意見をいただいた。感謝を申し上げます。

閉会